

平成 18 年 12 月 1 日

各 位

会 社 名 東日本ハウス株式会社
代表者名 取締役社長 成田和幸
(JASDAQ・コード 1873)
問 合 せ 先 執行役員財務部長 青荊雅肥
T E L (0 1 9) 6 2 4 - 3 2 6 1

特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しに関するお知らせ

平成 18 年 10 月期において、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行う必要が生じたのでお知らせいたします。

1. 特別損失について

当社および連結子会社において、財務体質の健全化と資本の基盤の強化を目的として、株式および債権の評価を保守的且つ厳格に行いました結果、以下の内容の特別損失処理を行なうことといたしました。

(1) 子会社株式評価損

連結子会社である株式会社ホテル東日本の平成 18 年 9 月期の自己資本 81 百万円の財政状態から株式の実質価額が低下しているとの判断をし、当社が保有する子会社株式について減損処理による子会社株式評価損 1,570 百万円を計上することといたしました。

(2) 貸倒引当金繰入額

連結子会社である東日本ハウスサービス株式会社の営業貸付金債権の債権保全の状況を保守的且つ厳格に評価しました。その結果、貸倒引当金繰入額 1,854 百万円を計上したことにより当期純損失が 1,561 百万円となり債務超過となりました。当社は、その債権超過額に対して貸倒引当金繰入額 1,405 百万円を計上することとしました。

(3) 貸倒引当金繰入額

当社の売掛金、長期貸付金、関係会社貸付金の債権について、債権保全の状況を保守的且つ厳格に評価しました。その結果、貸倒引当金繰入額 920 百万円を計上することとしました。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社において、上記の内容の特別損失処理をしたことにより繰延税金資産の計上額について見直しをいたしました。前期末(平成 17 年 10 月期)の繰延税金資産残高 6,774 百万円から、当期末(平成 18 年 10 月期)の繰延税金資産残高 1,728 百万円に減額をし、法人税等調整額(損) 5,046 百万円を計上することといたしました。

3. 業績への影響

業績への影響につきましては、平成 18 年 10 月期業績予想(連結・単独)を本日、別途開示しております。

以 上